

(独)防災科学技術研究所と協力し、防災に関するインターネットサイト「小林市ポータル」を実験的に運用しています。市内の自主防災組織が作成した防災マップなどを閲覧できます。市民協働による防災の取り組みをのぞいてみませんか。(問：小林市市民活動支援センターTEL 27-3177)



News 移住・定住政策
「ンダモシタン小林」
全国コンテストで特別賞



表彰式後、記念撮影。肥後市長（前列左から2番目）、高市早苗総務大臣（左から3番目）

地方への移住に関する情報を集めた総務省のインターネットサイト「全国移住ナビ」の全国コンテストで、市のPRムービー「ンダモシタン小林」が、動画コンテストの部で審査員特別賞に選ばれました。10月16日、同省大臣室で表彰式が行われ、肥後市長に表彰状が手渡されました。アクセス件数や「地域の魅力が伝わる」「知名度向上に貢献した」ことなどが評価されました。

News 官民連携
東京のアイデアを西諸に
新たな観光振興施策スタート

NTT データ・三菱地所の企業協力の元、東京の一般社団法人「エコツェリア協会」と連携した西諸の観光振興施策がスタートしました。第1回目のイベントとして10月5日、東京丸の内「東京と地方を編むアイデアソン」を開催。同協会の会員や西諸に縁のある企業人など80人が参加し、グループ討議や特産品を食す懇親会などを通して観光振興のアイデアを出し合いました。



100以上のアイデアが出されたグループ討議（左）。会場と中継で結ばれ、市民らが西諸の魅力を発信（右）

※市ホームページで詳細を紹介しています

News 協働のまちづくり
市協働のまちづくり推進委員会の委員11人に委嘱状を交付
次の世代、さらに次の世代を巻き込んだ取り組みを

市では、市民と行政の協働のまちづくりを進めるため、「市協働のまちづくり推進委員会」を設置しています。9月30日、委員が改選され、11人に委嘱状を交付。第1回目の会議で、「高齢者の知恵を地域活動に生かしたい」、「若者が参加しやすい事業を考えていきたい」などの意見が出されました。吉村秀昭委員長は、「活動の中心は高齢者が担っている。次の世代、その次の世代まで『まちづくり』にいかにか巻き込んでいけるかがこの委員会の役割」と話していました。



⑤委員には子育て世代も多く、親子で参加する委員もいました。⑥吉村秀昭委員長。

防災・防犯メール登録者数1万人目前！カウントダウン 10月23日現在：9960人

協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

こばやし協働 Info & News インフォ アンド ニュース

News にしもろ定住自立圏
地域間連携で地方創生
西諸の未来考えるフォーラム

西諸地域の地域活性化を考える「『にしもろ定住自立圏フォーラム』～西諸の地方創生～どうなる？にしもろの未来」が9月24日、文化会館大ホールで開催されました。西諸2市1町の住民ら約1000人が来場。講演や首長によるパネルディスカッションを通し、それぞれの強みを生かした地方創生のヒントを探りました。講演には(株)NTTデータの吉田淳一さんが登壇。外国人旅行者を呼び込む情報発信の大切さなどを訴えました。



NTTデータの吉田さんをコーディネーターに、首長らが意見を出し合ったパネルディスカッション

News 輝けフロンティアのじり
特定健診受診率向上のため
標語・キャラクターでPR



表彰を受ける杉元さん（左）と吉村さん（右）。作品は、特定健診のPRなどに活用していきます

輝けフロンティアのじりでは、野尻町区内の小中学生を対象にした特定健診受診率アップ推進キャラクターと標語を募集し、その表彰式が、9月20日、ゆ〜ばるのじりでありました。キャラクター部門では杉元稟佳子さん（紙屋小2年）が、標語部門では吉村唯吹さん（野尻中3年）が優秀賞を受賞しました。また同日、第7回ひがな花まつりも行われ、約2000人が来場。ミニ物産展やステージショーで会場を大賑わいしていました。

News 障がい者を支援する「カラザ」がNPO法人に認証



障がい者やその家族を支援する「カラザ」が、NPO（特定非営利活動）法人の設立認証を受けました。9月30日、認証書交付式を市役所で開催。設立代表者の上島秀一さんに肥後市長から認証書が手渡されました。上島さんは、「障がい者が生活しやすい地域を目指していきたい」と話していました。